

会 議 録

《会議名称》 令和5年度 第1回岸和田市景観審議会 《開催日時》 令和5年5月29日(月)15:00~16:30 《開催場所》 opsol 福祉総合センター2階 研修室2	承認		
	会長	齊藤委員	所委員
	6/15	6/15	6/14

《出席者》（景観審議会委員出欠状況）

泉原委員	稲垣委員	今西委員	大野委員	岡田委員	木多委員	齊藤委員	竹田委員	田中委員	所委員	中野委員	星乃委員	堀田委員	山本委員
○	○	○	○	●	×	○	●	○	○	●	●	×	●

（委員14名中、12名出席）（●はリモート参加）

岸和田市) 岸まちづくり推進部長
 事務局) 都市計画課 越智、忠野、森田、西出、頓花、松尾
 傍聴者) なし

《概 要》

■審議案件

- 1. 景観資源100選冊子の作成について

■報告事項

- 1. 景観施策の取組みについて
- 2. 令和5年度スケジュールについて

《内 容》

■開会

- ・14名中12名の委員出席を確認。(会場：7名、リモート：5名)
 岸和田市景観審議会規則第6条第2項の規程により審議会の成立を確認。
- ・傍聴状況報告。

■事務局の紹介

■挨拶

- ・岸まちづくり推進部長挨拶
- ・田中会長挨拶

■会議録確認者の指名

- ・令和5年度第1回景観審議会の会議録確認者として齊藤委員と所委員の2名を指名し、承認される。

■議案第1号「景観資源100選冊子の作成について」

景観資源100選冊子の作成について、事務局より説明。

【質疑の概要】

- (委員) ・3ページ目の左側に岸和田の地形図があるが、下の凡例の文字が小さくて見えない。他にも6ページ目にある記号など見にくいところがあるので、印刷の加減もあるかと思うが注意していただきたい。
- (委員) ・9ページ目の中央小学校のエノキの写真はいつ撮影した写真なのか。注釈で平成27年に移植されたと書かれている。今は見に行ってもエノキを見ることはできないということか。
- (事務局) ・写真は移植前で、当時こころに残る景観資源にご応募いただいた時の写真である。小学校には勝手に入ることはできない。ご指摘いただいたような、指定当時から状況が変わっているものに関しては、状況確認したうえで掲載方法を考える。

- (会 長) ・冊子を見たときに景観資源なのかわかるような写真になっていることが大事ではないかと思う。選定時は、誰でも見ることができるというのが条件だったと思うので、その辺りも含めて写真の注釈等を考えてもらいたい。
- (委 員) ・作成部数はどのくらいで、誰に冊子を渡すのか教えていただきたい。このような冊子を作ると、冊子を持って歩く人が結構いて、見に行った先が迷惑されることがある。大阪府建築士会で歴史建造物マップを作ったときは、「必ず迷惑をかけないようにしてください」と注釈を入れた。
- ・3つの表紙案はどれが有力な候補なのかよくわからない。1つめの案は1だけ写真がはみ出ているのが気になる。
 - ・案件説明ページは、応募者のエピソードが先(上)にあって、それに対して講評があるべきである。
- (事務局) ・300冊印刷予定で、配布先は今回部数が限定されているため、指定景観資源の応募者やこれまでまちかど審査等でご協力いただいた関係者、公共施設に配付予定で、そういった方々から景観啓発に広げてもらいたいと考えている。
- (委 員) ・冊子はデータで公開するのか。
- (事務局) ・冊子のデータはホームページで公開することを考えている。
- (委 員) ・部数から言えば、冊子自体は広く一般の人が見るものではないかもしれないが、ホームページから取得して、見に行く人はいるかもしれない。
- (委 員) ・持ち歩きやすいようにとのことだが、例えば、観光ボランティアや各施設に来られた方にもし渡すとすれば、A5サイズの大きさでは、もっとフォントを大きくしないと読めない。ここに残る景観資源に指定された写真もたくさん並んでいるが、何が特徴かこのままだとわかりにくい。
- ・300冊作るなら、各施設に置いてあることを利用者に知らせておき、しおりみたいに皆さんに持って歩いてもらう大きさは適切ともいえる。
 - ・記号はもっと簡潔にしたほうが分かりやすいと思った。
 - ・まち歩きをする人は若い人や子供ばかりではないと思うので、年配の方たちのことも考えて作成いただきたい。
- (事務局) ・ご指摘のとおり、フォントや地図等の見えにくさは改善する。
- (委 員) ・今まで小さな冊子を持って歩き回っており、ここに残る景観資源が1冊で全て見られるようになることはありがたいので、検討よろしく願います。
- (会 長) ・凡例の大きさや記号の配置の仕方など考えてもらい、配布先や、見学時の注意書きも検討

いただくということで、よろしくお願いします。

- (委員) ・若い人達はおそらく、冊子よりもウェブサイト等の方が使いやすいのではないかと。情報は豊富にあるかと思うので、例えば、景観資源をウェブサイト上にデータベース化して、写真・地図・資源のいわれ等がスマホなどから簡単にアクセスして見られるようにし、ウェブサイトをメイン、冊子をサブにするという考え方はできないか。
- (事務局) ・今回、冊子の各ところに残る景観資源の紹介ページにQRコードを載せて、市ホームページのところに残る景観資源のサイトの各資源の紹介ページにリンクさせている。ホームページの内容をもう少し充実させるように考えたい。
- (委員) ・今年度中にデータベースの内容を充実させるまでは難しいと思うが、来年度以降、本格的に検討していただきたい。その辺りのノウハウを持っている方々がおられないのなら、また意見交換等の機会があればよいと思う。
- (委員) ・昨年度も意見があったと思うが、特別編の経緯が分かりにくいので、冊子案の特別編の紹介のところで、各指定資源の応募年度を入れておいた方がよいと思う。また、資料1-1に書いてある特別編の説明も入れておくと経緯が分かりやすい。
- (委員) ・中央小学校のエノキの紹介ページで、推奨時期が1月から12月となっているが、1年中だと推奨時期というには違和感がある。季節限定で見られるような景観があれば注釈を入れたいという意図だと思うので、そういった案件だけに注釈を書いたらどうか。
- (事務局) ・仰るように、エノキのような落葉樹は年間通して変化するかと思うので、推奨時期の表現を見直し、それ以外の景観についても、季節や朝夕といった時間によっても違いがあると思うので、表現方法等、他の景観資源も含め精査したい。
- (会長) ・先ほどの注意書きや景観資源を見に行くときに気を付けるような事項が載せてあった方が冊子としての意味があると思う。講評と応募の掲載順に対する意見はいかがか。
- (委員) ・何も知らない人が冊子を見たときに、先に応募説明があって、その後に選定された経緯があるというのが時系列として一般的かと思う。
- (会長) ・冊子案で使用している景観資源の記号は、どのように決めたのか。
- (委員) ・記号は事務局で使用するGIS（地理情報システム）に景観資源を登録する時に使用していたものである。本審議会に諮ったものではなく、先ほども記号が分かりにくいといったご意見もいただいたので、見直してわかりやすいものを考えたい。
- (会長) ・記号のイメージが景観資源のイメージにも結び付くような気もするので、検討材料になるのではないかと思う。

(委員) ・記号で言うと、広域地図に景観資源全ての箇所を載せる必要はないと思う。景観資源が集中しているところをひとつずつ数える人もいないだろうし、広域地図を見ただけでは詳細位置まで分からないのだから、景観資源がこの辺りにあるということが概ね分かればよい。

(委員) ・この冊子は、岸和田の100周年事業として作成するものなのか。

(事務局) ・昨年度が市政施行100周年で、これまで選定した景観資源が106件となった時期と重なっていたこともあり、100周年事業ロゴの表示を表紙案に付けた。ただ、冊子作成自体は100周年事業の位置づけがされたものではないので、ロゴ表示は削除する。

(委員) ・本日出た意見を基に冊子案を修正すると思うが、大幅な修正が必要と思うので、修正案に対し、再度、委員として確認する機会はあるのか。

(事務局) ・多くのご意見を本日頂戴しており、現案のままを進めることは考えておらず、修正案を作成した後、電子メール等を用いて、ご意見をいただくようにしたい。

(委員) ・委員の意見全てを反映させるということも難しい面もあると思うので、最終的には事務局でまとめると思うが、冊子の根幹に関わるような事項について、委員に対し意見収集を行うということでも良いかと思う。

(会長) ・冊子案については、本日の意見を基に修正の上、再度、各委員から電子メール等用いてご意見をいただく機会を設けさせていただきこととし、100選冊子を作成することについては了承してよろしいか。

(委員) ・一同了承。

■報告第1号「景観施策の取組みについて」
景観施策の取組みについて、事務局より説明。

【質疑の概要】

(委員) ・ビュースポット大阪は、市で応募することもできるのか。

(事務局) ・過去には、岸和田市の職員が、岸和田市として応募した事例があるので、今回も応募することは可能かと思う。

(委員) ・市の宣伝にもなるので、市として積極的に応募する方が良いと思う。
本市には摩湯山古墳という全長200m程の大阪でも指折りの大きな古墳があるが、あまり知られておらず、応募を考えてもらいたい。

(事務局) ・摩湯山古墳の良い写真などがいないか確認し、応募を検討してみる。

(委員) ・LPP活動について、ウォークラリーは岸和田のどの辺りを歩いたのか。

(事務局) ・岸和田城がスタート地点で、港湾の錨モニュメント付近をゴールとして学生がルート設定を行った。

(委員) ・「道中に参加者を惹きつける工夫が必要」とのことで、それは観光に関することとも思うが、景観と観光を横軸で繋ぐものが何かないかと考えた時、例えば、都市計画課が作っている景観の冊子等で、観光課と横軸を繋いで、イベントを開催したりできないかと思った。

(事務局) ・観光課へ景観の情報提供や景観の冊子を提供しているが、一緒に何か観光イベントをしましょうというところまではできていない。

(会長) ・横を繋ぐというのが景観という考え方なので、ぜひ関係をつくっていただけたらと思う。

(委員) ・これまでここに残る景観資源を 106 件指定した中で、優れたものをビュースポット大阪に応募すればと思う。そうすることで、大阪府と岸和田市が連携し、岸和田の良さが大阪へ伝わるのではないかと思った。

(会長) ・基本的には、ビュースポット大阪と岸和田市の景観とは連携していないと思う。ビュースポット大阪は、視覚的な景観という考え方で行っているところもあり、本質的な景観という考え方まではいたっていない。そういったところを、これまでの経験を活かして提案し、変えていくことができれば良いかと思う。

■報告第2号「令和5年度スケジュールについて」

令和5年度スケジュールについて、事務局より説明。

※ 質疑なし

(事務局) ・次回の景観審議会については令和6年2月頃予定。

以上